

やまがた

元氣



農の風

NO.30

はらだ  
原田 直幸 さん

西蔵王高原で祖父の農地を引継ぎ、地域の若手農業者として多品目の野菜を生産しています。



山形市



## 就農のきっかけをお聞かせください。



高校卒業後、2年間一般企業で勤務しました。祖父から「農業をやってみないか」と誘われ「特にやりたい訳ではなかったけど・・・」「やる？やらない？」「やってみようかな」と半年ぐらい迷い、悩んだ末に『やるなら若いうちに、祖父の手伝いから農業に慣れていこう！』と“**二十歳の決断で就農**”しました。

現在7ヘクタール（露地6.8ヘクタール・ハウス20アール）の農地で多品目の野菜を栽培し、地区の仲間と共に地元のスーパーと取引しています。



これからの農業経営を考え、ハウスの一部では様々な野菜を試験的に栽培しています。

“農業が天職”と話す 原田 直幸 さん



## 就農してみてもいかがですか。



今年就農11年目で、就農当初は祖父とケンカもしましたが、今は農業経営を任せられており、年間の営農計画（野菜の作付品種、肥料・農薬の管理）を考えることが楽しいです。農業は自然災害等のリスクが伴い、毎年同じようにはいかないものの「自分の経験や工夫」が物を言います！

特に毎年堆肥を入れることにより地力が上がり、化成肥料にはない粘り強い効果が現れることを実感しています。天候不順の時でも「より良い品質・安定した出荷量と出荷期間」を確保することにより、出荷先との「信頼・絆」が強まっています。農業が『天職』と思えるようになってきました。

広々とした農地で育つキャベツ  
[写真提供：原田直幸さん]



## 就農を考えている人にメッセージをお願いします。



農作物の品質（農業技術・品質へのあくなき向上心があれば！）が良ければ自ずと収入は上がっていきます。

**先ず、“良いものを作ることを心掛ける！”ことが大切です。**

これからの農業経営は“大雨・干ばつ・台風”等の異常気象への対応を考える必要があると思っています。



広々とした農地で育つブロッコリー（左）、ダイコン（右）  
[写真提供：原田直幸さん]



東北農政局 山形県拠点 地方参事官室

TEL:023-622-7231/FAX:023-622-7256

